

第6回 寝屋川市産業振興に関する連絡調整会議

日時：平成 28 年 2 月 22 日（月）13：30～

場所：寝屋川市役所議会棟 4 階第 1・2 会議室

1. あいさつ

会長 開会のあいさつ

会員の皆さまから近況報告

2. 案件

(1) 産業振興に関する市の施策について（平成 27 年度実施分）

(事務局) 産業振興室が平成 27 年度に実施している主な施策について、スライドを用いてご説明させていただきます。

(商業、工業、就労、農業、連携・協働、消費の順に説明)

※資料(1)参照

【質疑応答】

(会員) ベンチャービジネスコンテストにおいて昨年度工業部門賞を受賞したプランの進捗状況は？

(事務局) 昨年開催された大阪勧業展へ出展をしたが、実用化にはかなりの費用がかかるため、コンテスト補助金 50 万円では実現化は難しいとのこと。現在はこのプランを形にしてもらえる事業者を探している状況だと聞いております。

(会長) 商業部門賞の「色が変わるうどん」は今もお店で販売されていますか？

(会員) 1 日限定 10 食程度だが販売されています。

(会長) 農業部門賞の「福神漬け」も商品化され、農業まつりでは限定 300 個（1 つ 200 円）で販売されました。現在は 1 年を通して販売できるよう、調整中です。

(2) 産業振興に関する市の施策について（平成 28 年度実施予定分）

(事務局) 産業振興室が平成 28 年度に実施を予定している主な施策について、ご説明させていただきます。

(商業、工業、就労、消費、農業、連携・協働の順に説明)

※資料(2)参照

(会長) 少し補足説明をさせていただきます。

先ほど地域就労支援センターが「ねやがわシティ・ステーション」へ移転するという説明がありましたが、4月より各市民センターの名称が「シティ・ステーション」に変わります。香里市民センターは「香里園シティ・ステーション」になります。名称は市民公募により決定しました。応募者の方は「道の駅」をイメージされ、「行政の道の駅」という意味を込めたとのこと。ねやがわシティ・ステーションには就労相談窓口を設けますが、その他のシティ・ステーションでも相談体制の充実を図ってまいります。それに伴い、ねやがわシティ・ステーションは夏頃にリニューアル工事を行います。

【質疑応答】

(会員) ねやがわ屋を改装し就労支援窓口を設置するとのことですが、現在のチャレンジコーナーはなくなるということですか。

(会長) チャレンジコーナーにつきましては、終了となります。

(会員) それは(チャレンジコーナーが)一定の役割を終えたという理解でよろしいですか。

(会長) はい。おっしゃるとおりです。ただし、シティ・ステーションに変わること、ねやがわ屋では今まで取り扱っていなかった住民異動の手続きができるようになります。

(会長) また、商品券事業につきまして、平成27年度は全国的に国の交付金を活用され発行され、また、プレミアム率を20%とするなど、特別な形で事業が実施されました。寝屋川市商業団体連合会は平成10年から商品券を発行していただいております、来年度も引き続き発行を予定されており、市としても商品券発行に対し支援させていただくことで、商業振興を推進していきたいと考えております。

ベンチャービジネスコンテストについては、先の話で恐縮ですが、来年の1月21日にグランプリ発表会を予定しておりますので、日程調整をお願いできれば幸いです。今年度は同志社香里中学校・高等学校からの応募が多かったということもあり、来年度は既存の4部門に加え、新たに中高生部門を設ける予定でございます。将来的には、市内の公立中学校や府立高校に対しても応募を呼びかけられればと思っております。また、各学校法人様

におかれましても付属の中学校や高等学校が対象となりますので、是非ご応募を検討いただければと思っております。

さらに皆様に一つご報告がございます。

今年度より消費生活センターが産業振興室の所管となったことについては、さきほど事務局からも説明がありましたが、平成28年度は、産業振興室の所管事務として、観光振興業務がブランド戦略室から移管されます。日本は観光立国で外国人観光客が増えてきています。寝屋川市は国の史跡（石の宝殿）がありますが、目立った地域資源には乏しいため、まずは既存資源を組み合わせることで観光資源を創出し、交流人口を増やすことで寝屋川市を知っていただこうと考えております。産業活性化の側面からも寝屋川市で買い物などをしていただけるような取組を立案していきたいと思っております。オール寝屋川で取り組んでいければと考えております。

(会員) 今までブランド戦略室ではどのような取組をされていたのですか。

(会員) 「市のイメージアップ」を図ることを目的に「びわこ号復活プロジェクト」「まち歩きイベント」「京街道プロジェクト」「淀川舟運」など広域的な取組を行って行っていました。これからは地域資源を活用しながら観光振興を行っていききたいと考えております。

(3) 会員の皆様からの情報提供について

(事務局) まずは〇〇さんお願いします。

(会員) 姉妹都市の和歌山県すさみ町の特産品を3月4日に市役所ロビーにて販売しています。あじの開きや梅干し、サンマ寿司などを販売する予定です。

(事務局) 続きまして、〇〇さんお願いします。

(会員) 本校では国際交流の推進を目的として、日本語と英語を併記した学校要覧を作成しました。また、今年度から東大阪市にあるものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)に地域連携テクノセンター長が毎週月曜日に常駐し、事業者さまからの技術相談を受付し共同研究などを行っています。また、大阪府立大学地域連携研究機構と連携し、大阪府の交付金申請やコーディネーターによるサポインの申請支援も行っております。本校だけでなく大阪府立大学にも2~30人のコーディネーターがいるので、補助金申請などを通して地域発展に寄与できればと考えております。

(事務局) 続きまして、〇〇さんお願いします。

(会員) 本学の地域連携センターが開設 10 周年を迎え、2 月 27 日に記念フォーラムを開催します。基調講演を和歌山大学の前学長で国立大学協会専務理事の山本先生にお願いし、地域貢献をテーマにお話をさせていただきます。また、学生による和歌山県由良町やすさみ町での活動報告も行います。

(事務局) 続きまして、〇〇さんお願いします。

(会員) 4 月より本学の守口キャンパスにおきまして、「世界を知ろう」をテーマに無料の公開講座を月 1 回、6 か月間リレー形式で開催します。

(4) 連絡調整会議の今後のスケジュール

(事務局) 今後のスケジュールについてですが、次回の連絡調整会議は 8 月頃の開催を予定しています。また、昨年も実施しましたフィールドワークにつきましては 10 月に実施する予定です。いずれにいたしましても、事前に日程調整をさせていただきます。また、人事異動や役員改正などで会員変更がありましたら事務局までご連絡ください。

最後に会長より挨拶させていただきます。

(会長) 本日は長時間にわたり、ありがとうございました。来年度も引き続き皆様のご協力ご支援をいただきながら産業振興を推進してまいります。コンテストを例にとりましても、商業だけ、工業だけ、農業だけという考えの下ではなかなか産業振興も難しいところがございます。事業者の皆さまはもちろん、教育研究機関、商工会議所及び市民の皆さまのご協力、協働で進めていければと考えております。今後ともよろしくお願ひいたします。